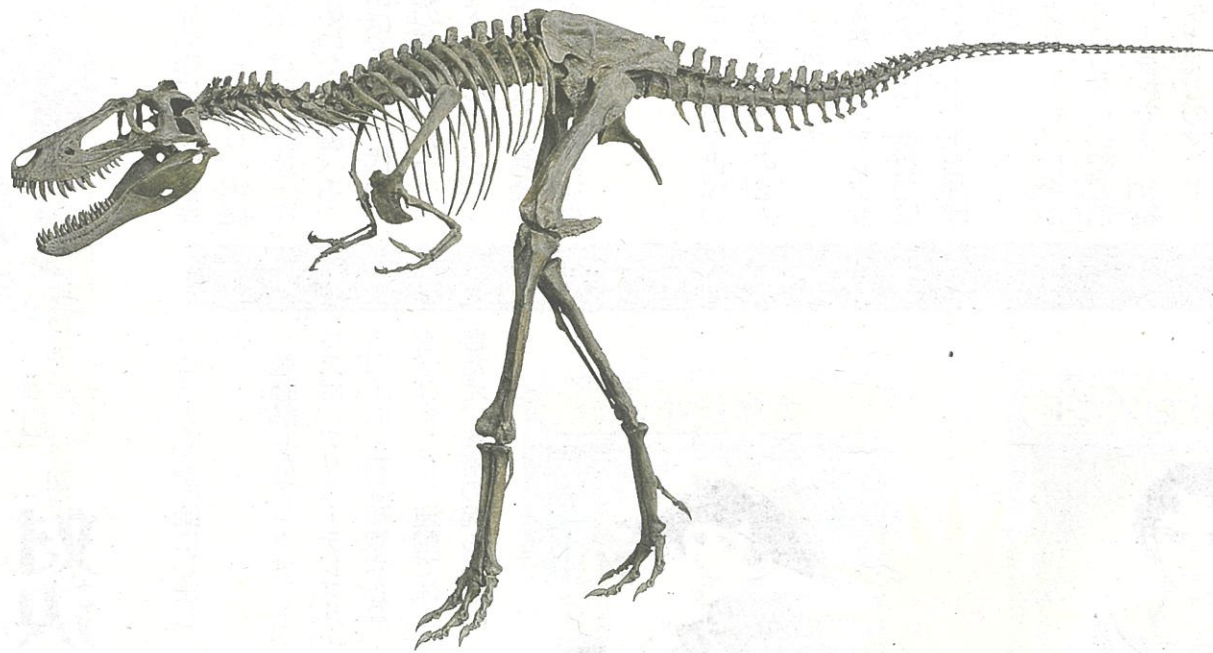
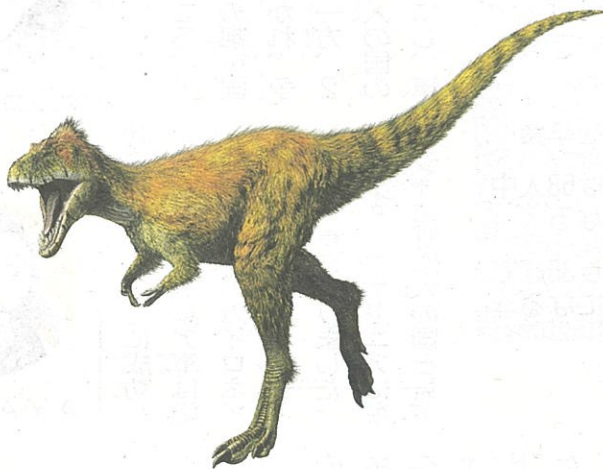


特集



ジェーンの復元骨格。ティラノサウルスの「若者」ではなくて、小さなティラノサウルス類「ナノティラヌス」の仲間だという説もありです。

すばしこく走り回れた？



ジェーンの体に羽毛がどれくらいはえていたかはよくわかりません。これはほぼ全身を羽毛で包んだバージョンです。復元画は学者や画家の考えによって変わります(復元画・月本佳代美)

大きな頭に大きな口。ずらりと並んだ歯はバナナぐらいの太さ、上あご下あご合わせて約60本。全長約12メートル、体重は6トン、手の指は2本。とくれば子どもたちは口をそろえて答えることでしょう。「ティラノサウルス」では、中ぐらいの頭と口。全長約6メートル。体重は重くても1トちょっと。手の指は2本とくれば？これもティラノサウルスなので、でも推定年齢11歳の若者です。

発掘を支援した人の名前にちなんで「ジェーン」という愛称が付けられています。7月13日から岡山シティミュージアム(岡山市北区駅元町)で開かれる「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」に出展されます。

写真と絵を見るとずいぶんスラッとしていますね。体がちりちりして見るからに頑丈そうな大人のティラノサウルスに比べると、ずいぶんきゃしゃです。でもスタイルは抜群。なんといっても脚の長さ。この脚ならば速く走れたに違いありません。そしてなんでも骨ごとかみちぎる大人と違って、すばしこく走り回る小さな獲物を捕らえて食べていたのではないのでしょうか。

同じ会場には、アジアのティラノサウルスとよばれる「タルボサウルス」の大人の全身復元骨格が岡山理科大学の学生によって組み立てられます。ティラノサウルス類の大人と子どもを比べる絶好のチャンスですのでぜひ見比べてください。

恐竜調査隊が行く

岡山理科大教授・石垣忍



11歳のティラノサウルス

まめちしき 豆知

ティラノサウルス類の幼体。ここ20年ぐらいの間に、子どものティラノサウルス類がいくつも発見され、成長が解明されつつあります。実は林原(岡山市)とモンゴルの共同調査で2006年に発見された子どものタルボサウルス(ティラノサウルス類)は、骨の断面構造から2~3歳と推定され、大変重要な標本です。岡山理科大学にレプリカが展示されています。ぜひ見に行ってください。